

歴史探訪

クラブ

其の
103



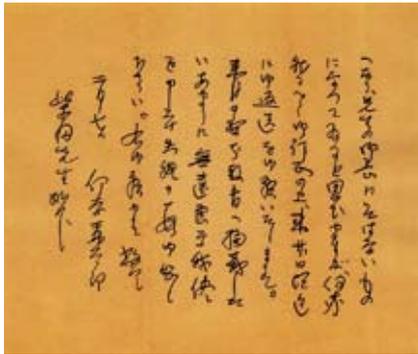
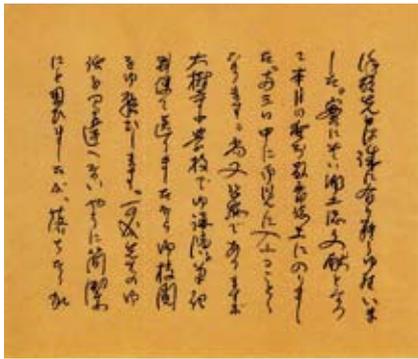
History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

伊奈森太郎もうひとつの顔 愛知県の文化財保護の星

伊奈森太郎（1883～1961）
は、大久保町の農家の長男として生



▲昭和8年 伊奈森太郎が書いた
柴田常恵あての手紙

まれ、26歳で田原中部小学校の前身である、田原尋常小学校の校長を勤めました。教育者としての伊奈の功績は、小学校を地域の教育の場として、学校や家庭、地域住民にまで啓発や指導にあたったことです。現在も田原中部小学校で続いているPTA紙『家庭と学校』は、伊奈の在任中は、ほとんど彼が執筆しました。誰が読んでも分かりやすく、伊奈の教育理念が集約されている内容といえます。また伊奈は、田原に関する人物や史跡の紹介を意欲的に進め、郷土学習の手本に渡辺華山を模範的人物として勧めています。田原中部小学校の華山劇で知られている「立志」は、伊奈が脚本を書いたものです。

昭和6年に退職した伊奈は、愛知

県教育史の担当となりまし
た。愛知
県全域で
資料集め
を行い、
考古や歴
史、民俗、
民話、歴

史、美術の分野の調査成果を報告しています。このような伊奈の多方面におよぶ文化財の造詣の深さは、大正12年に刊行した『渥美郡史』の編纂の際に指導を受けた、内務省の柴田常恵から得たものでしょう。柴田は戦前における日本の文化財保護行政を先導した人物で、考古学や仏教史、郷土史などにも研究成果を残しています。

伊奈は昭和20年、愛知県史跡名勝保存主事となりました。愛知県の第一人者として文化財保護に尽力した



▲昭和26年 古胡貝塚調査時の伊奈(前列右)

伊奈。文化財保護などの功績により愛知県や国からも多くの表彰を受けていますが、吉胡貝塚の国の発掘や国の指定に、彼の力が大きく働いていたことは知られていません。

伊奈の著書には、渡辺華山、岡田虎二郎に関するものをはじめ、『名古屋と民謡』『郷土民謡風土記』『愛知県現存若い者文獻集』『愛知県地方の古歌謡』『尾張の祭』『三河のお祭』などがあります。現在では、このように幅広い分野に明るい研究者はいないでしょう。文化財保護の功績が田原で語られることはあまりありませんが、愛知県の文化財保護の歴史の中でその功績は光り輝いています。

(増山)

今月の「表紙」

▼浜松モザイカルチャー世界博が、はままつフラワーパークで11月23日(月・祝)まで開催されています。

ここに出版されている「恋人の聖地」をイメージした田原市の作品には、幸せの鐘を鳴らそうと並ぶ人の列が……。鐘の音が響きわたる世界博へ、皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね。(O)

「表紙の写真」浜松モザイカルチャー世界博

本誌は再生紙を使用しています。

平成21年10月15日